



二本松 太田さん贈る

ストーリーで、約20人の子どもたちが手がけた四十数点の絵を使った。公用語のクメール語でつづり、ぬれでも保存できる紙製の絵本にした。B5判、32頁。

今春、来日した在カンボジア日本大使と会う機会があり「多くの小学校に絵本を届けたい」と相談。絵本の完成から7年を迎えるのを前に、大使館を通してカンボジア教育省に贈ることになった。

太田さんは10日、首都プノンペンの日本大使公邸を訪れ、教育省初等教育局の関係者に絵本を手渡した。太田さんは同省から感謝状を受け「子どもたちに地域や国の誇りを磨き、大切にその視点を持ってほしい。これからも途上国の教育に関わってきたい」と笑顔で話した。現地には父太田七右衛門さん（大七酒造社長）が同行した。

「サンキュー・カンボジア・プロジェクト」に取り組む太田朝弓さんのボランティア活動について、ネットの情報なども参考にし、あなたの感じたことをまとめてみましょう。

